



かけはし



文責：小倉



校舎を磨く、心を磨く

～環境委員会「掃除チェック！」



ある時、地域の方に「不知火小学校の子供たちの最近の変化」を尋ねられました。私は3つのことを答えました。「外で元気に遊ぶ子が増えたこと」「給食の残さいが減ったこと」そして「掃除をがんばる子が増えたこと」です。

子供たちと教職員が共に掃除する「掃除の時間」。これは、日本型公教育の大きな特長です。日本では「自ら学ぶ場を自ら整えることは、教育の一環である」ととらえられており、学校制度の成立時から、「掃除の時間」が設けられてきました。今では、諸外国がその教育的意義に注目し、公教育に取り入れている国もあるようです。不知火小学校でも、掃除の時間は、単に身の回りをきれいにするだけの時間としてだけではなく、掃除に向かう気持ちも含めて大切にしていきたいと考えています。

児童会組織の一つである環境委員会では、みんなが掃除を頑張れるように、おしゃべりせず黙々と掃除を頑張る「(黙々)もくもくタイム」や、週に一回水拭きを頑張る「ピカピカ掃除の日」など、様々な工夫を行っています。

今回取り組んだのは、特に頑張っている学級を表彰する「掃除チェック」。賞のために掃除を頑張るわけではないですが、日頃頑張っている学級には、うれしいご褒美になったようです。



表彰を受け喜ぶ子供たち

地域と共にある学校 ～コミュニティ・スクール～

急激な社会変化に伴い、「子供たちの育ち」を取り巻く課題はより多様化、複雑化しています。もはや、家庭教育や学校教育等の単体の努力だけでは、乗り越えられない状況です。そこで全国の小中学校では、地域を担う人材育成のために、家庭教育、学校教育、社会教育、地域での教育等が連携・協働し、当事者意識をもって、子供の成長を支えていく仕組みとして、「コミュニティ・スクール」制度を取り入れています。不知火小学校でも、2年前より「コミュニティ・スクール」に移行し、「地域と共にある学校」「学校を核とした地域づくり」を目指しているところです。

そして、コミュニティ・スクールの核となるのが「学校運営協議会」です。不知火小学校では、宇城市教育委員会から委嘱された地域の方々とともに、地域の子供の育ち全般にわたり、協議を進めています。

今年度は、5月28日に第1回協議会を開催し、学校の運営方針等について協議を行いました。



甲斐道德さん 吉村透さん 崎村睦子さん 校長
竹馬和樹さん 中川安正さん 中川浩子さん

「引き渡し訓練」 ご協力ありがとうございました！



5月24日(金)に実施しました「引き渡し訓練」では、たくさんの保護者の方々に訓練に参加いただきありがとうございました。

今後、子供たちの安全確保を最優先と考え、緊急の措置として「引き渡し」を実施する場合があります。メール配信システム「はなまる連絡帳」の登録及び日常的な確認等、ご協力よろしくお願いします。